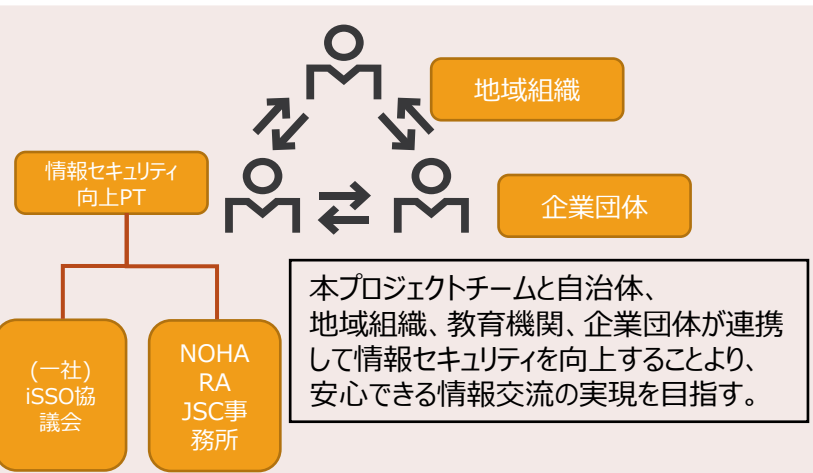


(情報セキュリティ向上プロジェクト ～安心できる情報活用の実現を目指して～) (情報セキュリティ向上プロジェクト)

プロジェクトチームの目的	悪意のある攻撃者によるネットワークを介した、ランサムウェア（暗号化）被害、詐欺メール被害などが全国で発生しています。沖縄も例外ではありません。Web社会の基板であるインターネットの安全利用のための対策はどんな組織でも必要ですが、導入コスト、管理工数の課題から中小組織の対策は遅れています。その解決策として導入負担の小さな情報セキュリティ対策ISSO（情報セキュリティスタンダード沖縄）認証を中小組織に広げるのが当プロジェクトの目的です。その為に、情報セキュリティ認証の付加価値を高め、認証取得事業者の経営効率化、売上げへの貢献に結びつける。また、学校やコミュニティで情報セキュリティ教育を推進することで、次世代のデジタルリテラシーが向上し、社会全体の情報リテラシーを高めたい。		
解決したい課題	・中小組織が情報セキュリティ対策が遅れている。 ・ISSO協議会単独では情報セキュリティを強化したい中小組織団体会員へのアプローチが難しい。 ・情報セキュリティ認証取得への官公庁入札などの付加価値が現状ない ・情報セキュリティ教育の場が少ない。		
関連するゴール	4 誰の悪い情報もみんなに 9 産業と地域経済の発展を支えよう 17 パートナーシップで目標を達成しよう		活動期間 令和7年8月～令和8年7月
おきなわSDGsアクションプランとの関係性	優先課題⑤	⑤-2	情報通信産業が稼げる産業へと変革し、産業DXを支えるパートナーとして、沖縄の産業の持続的発展に寄与することを実現する。
	優先課題⑨	⑨-3	地域課題に行政・地域・企業等の多様な関係者が持ち味をいかしつつ連携して推進するパートナーシップを通じて、共助・共創型の社会を実現する。
活動内容 及び 期待される成果		プロジェクトチームのイメージ	
活動①：地域組織との連携：中小産業団体、商工会、自治体等へ情報セキュリティ認証の付加価値アピール 活動②：情報セキュリティ規格の提供：県内で情報セキュリティへの取り組みが進んでいない中小企業に対して、情報セキュリティスタンダード沖縄規格への理解と実践方法について提示する 活動③：次世代への教育：教育機関での情報セキュリティセミナー開催 ↓ ・業務委託関係者側である中小産業団体、商工会、自治体等へ中小企業、組織への業務委託要件として情報セキュリティ規格取り組みを奨励する活動を行い、情報セキュリティ認証規格に付加価値がつくことで、ISSO認証規格の取得につながり、利害関係者への信頼性を向上させ、一層活発な社会的取引活動を実現する。 ・セミナー開催による受講者の情報セキュリティ意識の向上		 本プロジェクトチームと自治体、地域組織、教育機関、企業団体が連携して情報セキュリティを向上することより、安心できる情報交流の実現を目指す。	